

新体制決定

令和5年5月19日、令和5年第3回芳賀町議会臨時会が招集され、会期を1日として開催されました。選挙により第41代議長、第42代副議長を選出しました。また、常任委員などの選任も行われ、議会の構成が決定しました。

LRTへの展望

このたび、議長を務めさせていただくことになりました。日頃から皆さま方からのご支援に心から御礼申し上げますとともに、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いです。

さて、本年8月には待ちに待った次世代型路面電車LRTが開通します。現在の計画では、ピーク時には6分間隔で運行し、芳賀・高根沢工業団地前と宇都宮東口までを44分で運行する予定です。

これにより、芳賀工業団地からLRTに乗車すれば渋滞知らず、宇都宮駅東口まで移動できます。また、芳賀・清原工業団地への通勤電車としての役割も期待されています。おそらく、現在の車の渋滞も解消することでしょう。

また、全線新設されるLRTは国内初と言われており、注目度も高まっており、芳賀町へも多くの人が訪れ、知名度も上がってくると予想されます。

こうした人流の増加、知名度の上は芳賀町発展のチャンスになります。議会でも執行部と協力して芳賀町発展のために協力してまいります。

丁寧に町民の皆さま方の考え方を聞いた上で、常に町民目線で考え、行動してまいります。また、町執行部ともコミュニケーションを深め、議員各位の協力を得ながら、スピード感を持って行動してまいります。

今後とも「快適で、安心で、安全に暮らすこと」ができる町づくりを目指し、円滑な議会運営をしていきたいと思っておりますので、町民の皆さま方の議会に対するなお一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



第41代議長
小林 信二
(6期 74歳)



第42代副議長
小林 一男
(5期 60歳)

活発な議会を目指して

日本の周りには、領土拡大や侵攻などを画策する覇権国が3つもあり、そのどれもに共通しているのが独裁国家であり議会が機能していないという事です。

このたびの芳賀町議会議員選挙では立候補者が定数よりも二人足りないという結果となり、議員のなり手不足の深刻化とともに議会の機能不全も危惧されるどころです。活発な議会活動のためには議員定数は多いほど良い、しかし、選挙で定数に届かないとなると定数は削減すべきだ。など、様々なご意見があることと思います。

私見ではありますが、選挙のあり方自体が時代にそぐわなくなっているのではないのでしょうか。例えば、30代の子育て中の女性が立候補の意思を持っていても、事務所を構え、ポスターを100枚貼って歩き、選挙カーを作り5日間遊説に歩くというハードルは越えられそうにありません。新人議員の門戸を広げ、誰でも立候補しやすい制度、多く有権者が投票する選挙の審判を受けてこそ活発な議会となっていくのではないのでしょうか。

当町議会では、執行部提出議案の99%は可決されています。これは、初めに述べた議会の機能不全ではなく、しっかりとした議案を執行部が提出しているということです。議長と共に執行部と議会の橋渡しし、活発な議会運営となるよう努めてまいります。